

2020年 電子科

# 合格体験記

合格

岐阜大学 工学部

電気電子・情報工学科（応用物理コース）

（不破中学校 出身）大橋 史旺

「工業高校からの国公立大学への進学は難しい」私は合格して改めて身に感じました。それでも私が合格することができたのは、「高校数学の教員になりたい」という明確な目標があったからです。まずは揺らぐことのない目標をたてることが重要です。3年生のときには、平均すると平日は4時間、休日は10時間程度勉強しました。電子科だからこそ大学入試に生かせる勉強もあります。例えば電気分野は物理分野に関わりがあり、更に実習などで具体的に学ぶことができるため、無理やり暗記するのではない生きた知識になります。私は中学時代あまり勉強が得意ではなく、高校入試の点数も平均程度でした。今、学力に自信がなくても今後の努力次第で可能性は広がります。大工の中だけではなく、模試など積極的に受けて、全国受験生のレベルを早いうちから感じる必要があります。辛い戦いになると思いますが、応援しています。頑張ってください。



アイシン精機 株式会社

アイシン高等学園

（池田中学校 出身）大橋 健太

「コツコツカツコツ」という言葉を大切に高校生活を送ってきました。この言葉はコツコツ頑張ることが勝つコツという意味です。ここでの「勝つ」は、自分の目標を達成したり、夢を叶えたりすることです。私の夢は「事故のない安全な自動車やその部品を造る」ことです。この夢を叶えるために、アイシン精機への就職を目指し、部活動や学習、資格取得を入学時からコツコツと頑張りました。毎日頑張ったおかげで「これだけ頑張ったんだ！」という自信をつけて就職試験を迎えることが出来ました。そして、自信をもって面接やグループ討論で自分をアピールすることが出来き、アイシン精機からの内定を頂き、夢への第一歩を踏み出すことが出来ました。これからも夢へ繋がる道をコツコツと歩いて行きます。皆さんも「コツコツカツコツ」で頑張ってください。

